
同窓会なんかきらいだ

四十万

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

同窓会なんかきらいだ

【Nコード】

N9130U

【作者名】

四十万

【あらすじ】

よくある話で残念な話

十二年振りにやるといふから「参加」に○を付けたんだ

ぼくは結婚もして子供も生まれ けっこう中流の生活をしていると思っし

見栄張らなくてもイケると思った

十二年前はまだ学生だったし

社会人になった連中はどうなのか興味もある

幹事は忠太郎だ

本名だから子供の時分はずいぶん悲しい思いもしたようだけど前回の同窓会では絶対に覚えてもらえらるから得だと言っていた

本名があだ名の附けようがないほどドイツにいるのってどんなもんよ？

幹事は他に二名

いつでも顔を突っ込んでくるので有名だった壮太と

いつでも周りに雑用を押しつけられるので有名だった光輝の名前があった

2

会場は新宿のシティホテルだった

会費は六千円 高いのか安いのかよく分からないが多分安いのだろう十五分前に着くと受付の前には既に二十人ほどがいる

受付をしているA組で一番綺麗だったシノブちゃん 今は二人の子持ち

元気してた？ そっちも元気そうで

参加費を渡して記帳する

にこにこしているシノブちゃんもすっかりお母さんの顔 面影は薄い

しかしこうして話すと自然昔に逆戻りするからおもしろい

郊外都市で生まれた中学校の同窓生 三クラス併せて百三十名
前回 成人式で約束して二年後に開いた同窓会からすでに十二年
久し振り！ よお、元気か？ 変わったなーお前！

弾む声は期待に満ち溢れた連中

同窓会に真っ先に駆けつけるのは お祭り好きか自己顕示の強いヤツ
着飾って厚化粧の女やカジジュアルなスーツとごつい腕時計を見せび
らかすヤツ

この時間帯に来るヤツ やっぱ子供のところからソリの合わないヤ
ツが多い

少し早く来すぎたかと後悔していると

よお！健

猛君だった 読みが同じタケルで出会ったころからウマがあった

ああ、元気か？ 元気だよ 変わらないね お互いな

商社に勤めて最近係長になった彼

万年主任のぼくはさき超されたな

ああ、だってケン君の会社はウチの五倍はでかいじゃない

いいや、モウ君の会社は急成長しているって聞いてるよ 来年上場
だって？

社交辞令もウマのあった同級生とはここちいい
ようやく今日を楽しもうという気になってきた

何度かの乾杯と じいさんばあさんになった恩師たちと

立食式の会場であつちこつちと出来るグループと

残念ながらモウ君以外ウマがあつた連中は来ていない

サッカー部の補欠だったぼくは フォワードでキャプテンだった航や
センターバックで人を小突くのが癖の馬場のサークルには入らない
バスケをやっていたモウ君もそつちのグループに流れてしまった

この日話題になったのはやっぱり見た目の変化
驚くほどハゲ上がったいたり

あの不細工がと目を見張るコ
方や なんて○○ランスにしないんだ
方や あれは絶対タカ○クリニツク の声
その中で多くの男性の失望を買ったのは
C組いや同級生で一番の美人と言われていた董ちゃん
最初全く誰か判別が付かず あちらこちらで 誰？あれ の声
やがて恥ずかしげに 私スマレです と……
学年で一番お銚子ものだったトシが
デラックスになったなあ と溜息を吐く 笑いを堪えるのにみな必死

結局、同級生と言っても他人
社会の縮図ってやつは何も変わらない
昔 騒がしかった奴は今でもうるさいし
静かで全てに無関心な奴は隅で大人しい
それ以上やそれ以下の人間はそもそも出てこない
そういうぼくも さも楽しそうにはしゃいでみせている
すると

そうそう、キリコちゃんは？ ああ、キリコ、来るよな？
その話題に俄然胸が高まるべく
そもそもぼくが出る気になったのは彼女に会いたかったからだ

なあ、ボクっておかしいか？
ううん、おかしくないよ
そーかなあ オンナオトコだけボク、サッカー好きだし
キリコちゃんはキリコちゃんだよ……す、すてきな女の子だよ
言うじゃないかタケル ボクも好きだぜ！

あの放課後 サッカー部の練習の後
彼女は女だてらにサイドバックで足が速く 男に交じっても遜色が
なかった

あの当方で身長は百七十 ぼくより大きかった
いつもケラケラ笑っていて明るくて元気で
でも人のことを気にして声を掛けていて

本当に素敵な子だった 好きだった

あれも告白だったのに お茶目にはぐらかされてしまった

あれからもう二十年

十二年前の同窓会には仕事が忙しいと出席しなかった彼女
とても残念だった

来れなかった連中が書いてよこした手紙を読むコーナーで
新宿のお店で働いています 仕事はずいぶん忙しく今日は出られま
せん

この次の機会には絶対に行きます みなさんによろしく
と、紹介されていた

店長になっていて忙しいけれど必ず行くと電話があったよ

幹事の忠太郎が弾んだ声で言う

そういえば佐藤おまえ好きだったんだよな そうそう健はぞっこん
だったな

冷やかされるが余裕で笑い飛ばす

もちろん家族持ちのぼくは 今はそんな気はない

ただ懐かしく そして甘酸っぱいあの時の気持ち
をただただ思い出したいくて……

遅くなりましたー！

会場によく通る声が響く

その声に振りかえる

絶句 ぼくだけじゃない ほぼ全員静かになる

五分刈りの頭に日サ口焼け 見事に着こなすグレーのジャケット
金のブレス

そして胸が

確かにBカップで貧乳だったけどこれって……全くないじゃん

よ、お……何かヘンか？

照れたその声

確かに声は変わらないよ トーンが少し低いけど活発な感じがとても好きだったけどさ

おいおい！そんなツラすんなよ よお！タケル ホラホラ乾杯しようぜ！

ぼくのキリコちゃん キリコちゃんが

……キリオになっていた

もう二度と出るものか

同窓会なんかキライだ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9130u/>

同窓会なんかきらいだ

2011年10月9日10時26分発行